

2020年8月18日

報道関係者各位

リム・アドバイザーズが声明を発表 — ニチイ学館株式に対する公開買付の結果について

株式会社ニチイ学館(「ニチイ学館」)の株主であるファンドを助言又は管理している在香港の投資会社リム・アドバイザーズ・リミテッド(「リム・アドバイザーズ」)は、ニチイ学館が本日発表した、株式会社BCJ-44によるニチイ学館株式に対する公開買付の結果に対して、強い遺憾の意を表明します。

当初の公開買付価格である1,500円、及び修正後の公開買付価格である1,670円は、ニチイ学館の適正な株式価値を大幅に過小評価している——とリム・アドバイザーズは声明文を出してきました。8月17日にBaring Private Equity Asia(「BPEA」)が発表したプレスリリースによると、BPEAはニチイ学館創業家の一部メンバーに、買付価格2,000円—本公開買付価格の1,670円に20%という大幅なプレミアムを乗せた価格—での公開買付を提案しました。同提案は本公開買付価格がニチイ学館の適正価値を大幅に過小評価しているとするリム・アドバイザーズの考えをより堅固にします。

取締役及び特別委員会は、全株主に対して公正な結果を確保する責任を負っているとリム・アドバイザーズは考えます。本件において、ニチイ学館の取締役及び特別委員会は、①我々が考える適正価値を大幅に下回る買付価格での公開買付に賛同、及び株主へ公開買付への応募を推奨したことに加え、②一部の投資家と非上場化後のニチイ学館への再投資を目的とした契約を別途締結しました。②の契約については、一部の投資家に対して他の投資家とは異なる取引条件を提供することになり、少数株主間の不平等な扱いを支持している——とリム・アドバイザーズは考えます。また、本件におけるガバナンスのプロセスは、経済産業省が発表した「公正なM&Aの在り方に関する指針」(「ガイドライン」)を順守していないように映り、我々が懸念しているマネジメント・バイアウトに潜在する利益相反のリスクは十分に解消されませんでした。

リム・アドバイザーズは引き続きBPEAからの提案を含む、如何なる対抗的買収の可能性がある事実について、情報を開示することをニチイ学館に要求します。ニチイ学館の取締役、及び株主の皆様が対抗的買収提案者に関する事実関係を、公開買付が終了する前に十分に検証できるように、公開買付期間が延長されなかったことについて、リム・アドバイザーズは非常に遺憾です。

本日発表された公開買付の結果は残念ですが、リム・アドバイザーズは日本への投資を続けます。コーポレート・ガバナンスに改善の余地があると考えられるものの、日本企業の事業価値、経営の信条、創意性、そして人々の誠実さを信じています。

リム・アドバイザーズ(<https://www.limadvisors.com/>)は1995年設立。20年以上も前から日本に投資しております。リリースは英語版を公表しておりますが、日本語版は英語版を一字一句翻訳したものではありません。引用される場合は、英語版が優先しますので、当社ウェブサイトを必ずご参照ください。

《本リリースに関する問い合わせ先》

LIM ADVISORS LIMITED

Email: info@limadvisors.com

Tel: +852-2533-0900